

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2021 年 9 月号 No.300

9 月 15 日（水）発行 ——



秋の到来を告げるものたち

釧路湿原はカラッとした空気に入れかわり、少しだけ秋を感じるようになりました。湿原の生き物たちも、秋の訪れをいろいろな形で教えてくれます。

1 年の暑さがピークを過ぎる頃、木道上にはハネナガキリギリスの姿が。メスが木道の隙間に産卵しているのです。この危険をかえりみない行動を見ると毎年、心打たれます。そしてウメバチソウが開花し、湿原の花の時期が終わりを迎えます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（8/15～9/14） ☆☆☆



【ナガボノシロワレモコウ】
バラ科 長穂白吾木香
ミズゴケ湿原などで見られ、背が
高い分、存在感があります。垂れ
下がった花序が特徴です。



【ミツバベンケイソウ】
ベンケイソウ科 三葉弁慶草
クリーム色の花が集まり、花全体
を際立たせています。ハンノキ林
内をよく探してみてください。



【オオバセンキュウ】
セリ科 大葉川芎
今年は本種をあまり見かけず心配
になりましたが、鶴居軌道跡の水
辺で立派に育っていました。



【ハンゴンソウ】
キク科 反魂草
この時期最も目立つ植物かもしれ
ません。黄色い花に集まる多くの
昆虫の命を支えています。



【キアゲハ (幼虫)】
アゲハチョウ科
よく探すと食草とするセリ科の葉
にいます。成虫は湿った地面など
で吸水している時もあります。

もうすぐ見られるかも！



2018年10月6日撮影
【ガマ】 果穂から綿状の種子を風
に乗せて散布します。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（8/15～9/14） ☆☆☆

夏のピークを過ぎ、季節の変わり目に入った釧路湿原。春から湿原をあれほど賑わせてくれていた夏鳥はすっかり静かになりましたが、これからのシーズンは渡りの途中の野鳥が見られることがあります。また温根内では時折、モズの鳴声も聞こえてくるようになり、秋の風情を感じさせます。



【コヨシキリ（幼鳥）】 夏鳥

ヨシキリ科 小葦切

無事に巣立った幼鳥が「チャッ、チャッ」という鳴声とともにヨシの間を移動していました。



絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【クマゲラ】 留鳥

キツツキ科 熊啄木鳥

珍しく湿原の上空を羽ばたいていました。国内最大のキツツキの仲間、国の天然記念物。



【ゴジュウカラ】 留鳥

ゴジュウカラ科 五十雀

樹木につかまりながら、上下にせわしく移動しています。秋に入り、鳴声もよく聞こえてきます。

○温根内探勝木道周辺で観察された花と鳥（8月15日～9月14日）

花（和名は五十音順 *外来種）	33	キツネノボタン	66	ヒメジョオン*	6	タシギ
1 アキノウナギツカミ	34	キツリフネ	67	ヒメナミキ	7	トビ
2 イケマ	35	キンミズヒキ	68	ヒヨドリバナ	8	ハイタカ
3 イシミカワ	36	クサフジ	69	ヒロハヒルガオ	9	ノスリ
4 イチゲフウロ	37	クルマバナ	70	ヘラバヒメジョオン*	10	オジロワシ
5 イヌタデ	38	コウゾリナ	71	ホザキシモツケ	11	コゲラ
6 イヌトウバナ	39	コガネギク	72	ホソバイラクサ	12	オオアカゲラ
7 ウシハコベ	40	ゴキツル	73	ホソバアカバナ	13	アカゲラ
8 ウツボグサ	41	コハコベ	74	ホソバナシバナ	14	クマゲラ
9 ウド	42	コメツブウマゴヤシ*	75	ミズ	15	モズ
10 ウマノミツバ	43	サギスゲ（実）	76	ミソガワソウ	16	ハシボソガラス
11 ウメバチソウ	44	サラシナショウマ	77	ミソソバ	17	ハシブトガラス
12 エゾイヌゴマ	45	サワギキョウ	78	ミソホオズキ	18	ハシブトガラ
13 エゾイラクサ	46	シオガマギク	79	ミツバフウロ	19	ヒガラ
14 エゾオオヤマハコベ	47	シロツメクサ*	80	ミツバベンケイソウ	20	シジュウカラ
15 エゾゴマナ	48	ススキ	81	ミツモトソウ	21	ヒヨドリ
16 エゾシロネ	49	スズメノカタビラ	82	ミミコウモリ	22	ウグイス
17 エソトリカブト	50	セイヨウタンポポ*	83	ミミナグサ	23	エナガ
18 エゾナミキ	51	セイヨウノコギリソウ*	84	ムラサキツメクサ*	24	エソムシクイ
19 エゾノカワヂシャ	52	セリ	85	モウセンゴケ	25	センダイムシクイ
20 エゾノキツネアザミ	53	タカアザミ	86	ヤナギタウコギ	26	シマセンニュウ
21 エゾヤマアザミ	54	タニソバ	87	ヤナギタンポポ	27	コヨシキリ
22 エゾリンドウ	55	チドリケマン	88	ヤブジラミ	28	ゴジュウカラ
23 オオアワガエリ*	56	ツメクサ	89	ヤマハギ	29	キバシリ
24 オオバコ	57	ツリフネソウ	90	ヤマハハコ	30	ノビタキ
25 オオバセンキュウ	58	トウヌマゼリ	91	ヨシ	31	キビタキ
26 オオバタネツケバナ	59	ドクゼリ	92	ヨブスマソウ	32	ハクセキレイ
27 オオヨモギ	60	ナガボノシロワレモコウ	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		33	ビンズイ
28 オトギリソウ	61	ナギナタコウジュ	1	キジバト	34	タヒバリ
29 カタバミ	62	ナズナ	2	アオバト	35	ベニマシコ
30 カラハナソウ	63	ハッカ	3	タンチョウ	36	イカル
31 カラフトノダイオウ	64	ハンゴンソウ	4	クイナ	37	アオジ
32 キオン	65	ヒメカイウ（季節外れ）	5	ハリオアマツバメ	38	オオジュリン

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

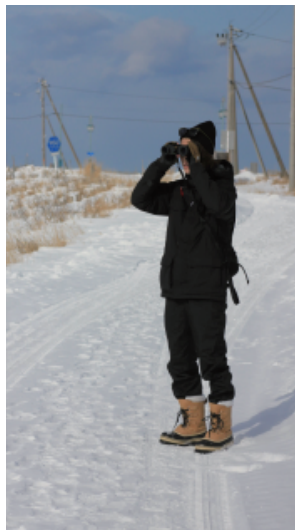
※9月5日、26日にそれぞれ予定されていた「アイヌの自然観～植物編～」と「ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止といたしました。

☆☆☆ 温根内ビジターセンター アルバイトスタッフ日記① ☆☆☆

はじめまして、教育大学釧路校地域の生態系研究室 ^{たけざわあゆと} 3年竹澤歩人といいます。6月からここ温根内ビジターセンターでアルバイトをしています。趣味の溪流釣りのため、普段は休みのたびに美しい溪流魚を求めて山々を駆けずり回っています。その影響もあり卒業研究では身近な魚類を対象にしている、ビジターセンター周辺の水生生物相を調査してみたり、魚類の同定を試みたりしています。釧路湿原という貴重な環境の中で生き物たちがどのよ



うに生き、命を繋いでいるのかを想像するだけで楽しみが尽きません。魚だけではなく生き物全般にも興味がありビジターセンターでの体験を通して、今までよりも自然や生物に対する解像度が上がっていくのを感じ、来るたびにワクワクしています。現在、残念ながらビジターセンターは臨時休館中ですが、開館した際は皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！



☆☆☆ ビジターセンター臨時休館のお知らせ ☆☆☆

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**当ビジターセンターは9月30日(木)まで、臨時休館といたします。**遊歩道とトイレは通常通りご利用になれます。また、最新の情報は当センターのFacebook などでも発信していますのでご確認ください。皆様のご協力を引き続き、お願いいたします。

☆☆☆ イベントのご案内 (10月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪秋の紅葉を見に行こう

〔日時〕10月17日(日) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター
紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけてみましょう。



○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪ムックリ(口琴)を作ろう

〔日時〕10月16日(土) 13:00～15:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕300円(材料費) 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪晩秋の湿原 野鳥観察会

〔日時〕10月23日(土) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕無料 〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

～通巻300号達成!～

おかげさまで本誌は第300号を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします。さて、記念すべき第1号の発刊は1992年7月。その表紙を飾っていたのはミツガシワでした!



月刊 温根内通信 No. 300

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

fFacebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日 (12/29～1/3は休館) 入館無料